

一般社団法人日本環境感染学会 地域セミナー委員会主催

北海道ブロック研修会

2026年2月7日(土)

14時00分～17時00分 (開場13時30分～)

WEB開催
参加無料

対象:高齢者施設・障害者施設などの福祉施設や
医療機関に勤務する職員【先着500名】



感染対策の「現場の悩み」に答えます
— HIVから誤嚥性肺炎まで、現場で役立つヒントが満載 —

14:00-14:05	オリエンテーション
14:05-14:35	正しい知識で安全・安心! ~HIV陽性者の ケアに必要な基礎知識~ 遠藤知之(北海道大学病院感染制御部、HIV診療支援センター)
14:35-15:05	感染症版BCP(業務継続計画)を高年齢介護福 祉施設で策定するためのHow to(手順) 萩野貴志(NTT東日本札幌病院 感染管理推進室)
(15:05-15:15) 休憩	利用者・スタッフ・環境を守る「おむつ交換」~WOCN とCNICの連携とスタッフ教育の実際~ 山根のぞみ(函館五稜郭病院 感染情報管理室)
15:15-15:45	誤嚥性肺炎を防ぐために ~嚥下障害の早期発 見と誤嚥性肺炎予防のケア~ 赤澤美樹子(北海道大学病院 歯科外来ナースセンター)
15:45-16:15	質疑応答
16:25-16:55	司会 石黒信久(ソフィア北円山クリニック) 小山田玲子(北海道大学病院感染制御部) パネリスト 遠藤知之、萩野貴志、山根のぞみ、赤澤美樹子

オンラインお申し込み



QRコードまたは以下URLから
申し込みください

<https://x.gd/yn6wo>



申込締切

2026年1月23日(金)17時まで



定員(先着順、定員になり次第終了)
500名

お問合せ

日本環境感染学会 地域セミナー 北海道
ブロック研修会 事務局 e-mail:jsipc.hokkaido.tokoku@gmail.com

後援:北海道、札幌市

▶▶ 裏面に、資料DLとアンケートサイト、抄録があります

研修資料

資料は2月2日(月)12時より、QRコードまたは以下URLよりダウンロードしてください



<https://x.gd/mR7mN>

研修後アンケート

研修会(オンデマンド聴講)終了後、簡単なアンケートにご協力ください。

▶回答方法(QRコードまたはURL)



<https://x.gd/oC6fi>

オンラインお申し込み



QRコードまたは以下URLから申し込みください

<https://x.gd/yn6wo>



申込締切

2026年1月23日(金)17時まで



定員(先着順、定員になり次第終了)

500名

抄 録

正しい知識で安全・安心！ ～HIV陽性者のケアに必要な基礎知識～
遠藤知之(北海道大学病院 感染制御部、HIV診療支援センター)

HIV感染症の治療の進歩により、HIV陽性者はHIV陰性者とほぼ同等の生命予後が得られるようになってきました。一方で、高齢化により様々な医療機関での診療や福祉サービスを必要とするHIV陽性者が増えてきています。HIVは、HBVやHCVと比べると感染力は極めて弱いため、HIV陽性者のケアに際しては特別な設備や対応を必要としませんが、HIV陽性者という理由だけで、受け入れを拒否する施設が少なくないのが現状です。今後安心してHIV陽性者を受け入れることができるように、HIV感染症の現状や基礎知識、針刺し・粘膜汚染時の対応等について概説いたします。

感染症版BCP(業務継続計画)を高齢者介護福祉施設で策定するためのHow to(手順)
萩野貴志(NTT東日本札幌病院 感染管理推進室 感染管理認定看護師)

COVID-19の経験を踏まえ、感染症流行時における業務継続には平時からの備えが不可欠です。本研修では、高齢者介護福祉施設における感染症版BCPの目的と策定手順を、講師の実践経験を交えて解説し、現場で活用できる具体的な知見を提供します。

利用者・スタッフ・環境を守る「おむつ交換」～WOCNとCNICの連携とスタッフ教育の実践～
山根のぞみ(函館五稜郭病院 感染情報管理室 感染管理認定看護師)

IAD(Incontinence Associated Dermatitis:失禁関連皮膚炎)は、おむつの着用が常態化した人ほど深刻な問題です。加えて高齢者はドライスキンでバリア機能が低下しているため、スキントラブルや尿路感染症を防ぐための予防的関わりが重要となります。この度「おむつ交換」の正しい知識と普及に向けてWOCN(皮膚・排泄ケア認定看護師)とCNICが協働して行う教育実践についてお話します。

誤嚥性肺炎を防ぐために ～嚥下障害の早期発見と誤嚥性肺炎予防のケア～
赤澤美樹子(北海道大学病院 歯科外来ナースセンター 摂食・嚥下障害看護認定看護師)

誤嚥性肺炎は、死亡原因の上位を占める重大な疾患であり、その多くは日常のケアに潜むリスクから発生します。本講演では、嚥下障害の基礎知識から、誤嚥性肺炎が発症するメカニズム、早期発見のための観察ポイント、食事形態や姿勢調整などのケア方法までをわかりやすく解説します。